



平成21年11月30日

各 位

会 社 名 ハリマ化成株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード：4410、東証・大証第1部)
問合せ先 広報室長 糟谷 匡
(TEL. 06-6201-2461)

星光PMC株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、平成21年11月30日開催の取締役会において、以下のとおり、星光PMC株式会社（以下、「星光PMC」と言います。）との間で、ロジンサイズ剤事業に関する業務提携を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携の理由

製紙用原料のロジンサイズ剤につきましては、ここ数年の中国産ガムロジンをはじめとする原材料価格の高騰と、国内紙生産の減少によって、両社とも事業を継続するための収益を確保することが難しい状況となっています。

今後の製品の安定供給、顧客サービス維持のためには、生産コストの改善が喫緊の課題となっています。

2. 業務提携の内容等

(1) 業務提携の範囲

ロジンサイズ剤の最適生産体制の構築、使用原料の共同調達が業務提携の範囲です。製品の改良・開発研究、営業・販売活動は、従来通り両社が独自に行っていきます。

(2) 業務提携の内容

①ロジンサイズ剤生産体制の最適化

現在、ハリマ化成は加古川製造所(兵庫県)・富士工場(静岡県)、星光PMCは千葉工場(千葉県)・水島工場(岡山県)でそれぞれロジンサイズ剤の生産を行っています。

ロジンサイズ剤の生産・物流コストを最小化するために、相互生産委託を初めとした最適生産体制構築の検討・実施を共同して行います。

②原料の共同調達

ロジンサイズ剤の主要原料であるロジン(松脂/まつやに)は、日本においては中国産の輸入天然ガムロジン(CGR)と、製紙用パルプ生産時の副産物である粗トル油から工業的に生産されるトル油ロジン(TOR)が主に使用されており、ハリマ化成は、日本における唯一のTOR製造メーカーであります。その利点を生かし、両社は原料価格及び調達の安定を目指して、ロジン及びその他原料に関して共同調達を図っていきます。

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	星光PMC株式会社			
(2) 所在地	東京都中央区日本橋本町3丁目3番6号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 乗越 厚生			
(4) 事業内容	製紙用薬品、印刷インキ用及び記録材料用樹脂の製造販売			
(5) 資本金	2,000百万円			
(6) 設立年月日	昭和43年1月			
(7) 大株主及び持株比率	D I C株式会社 53.76%他			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取引関係	当社は、当該会社へ製品を販売しております。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	決算期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
連結純資産		18,425百万円	18,176百万円	17,749百万円
連結総資産		27,407百万円	26,359百万円	24,247百万円
1株当たり連結純資産		599.39円	592.04円	585.35円
連結売上高		23,612百万円	25,100百万円	24,047百万円
連結営業利益		688百万円	629百万円	714百万円
連結経常利益		720百万円	655百万円	753百万円
連結当期純利益		366百万円	244百万円	353百万円
1株当たり連結当期純利益		11.91円	7.97円	11.59円
1株当たり配当金		10.00円	10.00円	10.00円

4. 日程

(1) 取締役会	平成21年11月30日
(2) 業務提携契約締結	両社協議の上、逐次進めてまいります。

5. 今後の見通し

業務提携による業績への影響につきましては、平成21年11月2日発表の業績予想の修正に関するお知らせの平成22年3月期通期の業績予想に織り込んでおります。

以上

(参考)

1. 当期連結業績予想（平成 21 年 11 月 2 日公表分）及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成 22 年 3 月期)	32,500 百万円	1,300 百万円	1,400 百万円	700 百万円
前期連結実績 (平成 21 年 3 月期)	35,327 百万円	524 百万円	385 百万円	△413 百万円

2. 製紙用ロジンサイズ剤

紙(印刷情報紙・段ボール原紙等)に対する水の吸収や浸透を抑制あるいは防止したりして、紙の筆記性(水系インキのにじみ止め等)や印刷性を改善するための薬品。ロジン(松脂/まつやに)を原料としたロジン系のサイズ剤が古くから使用されております。

3. ロジン

ロジンはその生産方法によってトールロジン、ガムロジンなどに分類されます。トールロジンは、松材よりクラフトパルプを製造する際に、松材中の樹脂成分が粗トール油と呼ばれる副産物として回収され、この粗トール油を精密蒸留(沸点の差を利用して各成分に分離、精製する方法)することによって得られます。トールロジンは米国、欧州の他に、アジアでは唯一弊社においてのみ生産されています。また、ガムロジンは、松の木の幹に傷をつけ、分泌する生松脂(なままつやに)を採取し、蒸留(沸点の差を利用して成分を分離する方法)することにより、低沸点成分のテレピン油を分離して得られます。ガムロジンは、中国が最大の生産国です。